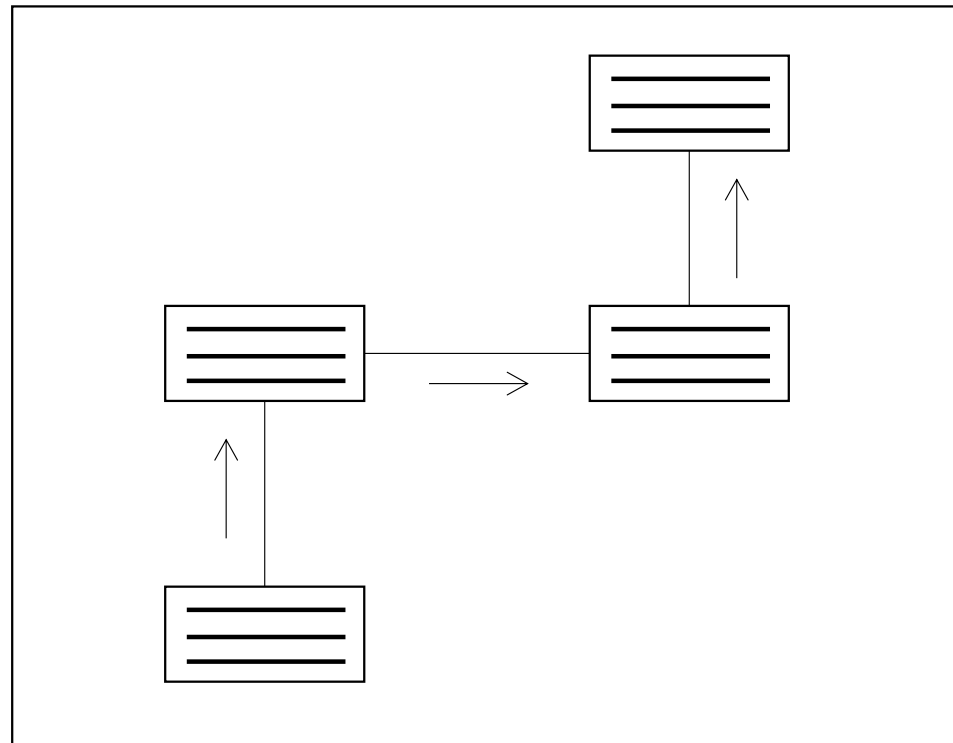


強いシステムを創る

1. 変化に強いシステムが求められる背景
2. 変化に強いシステムを創るための3つのポイント
3. 変化に強い情報システム

システムとは

システム



強いシステムを創る

1. 変化に強いシステムが求められる背景
2. 変化に強いシステムを創るための3つのポイント
3. 変化に強い情報システム

VUCAの時代

- Volatility (変動性)
- Uncertainty (不確実性)
- Complexity (複雑性)
- Ambiguity (不透明性)



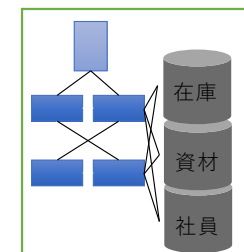
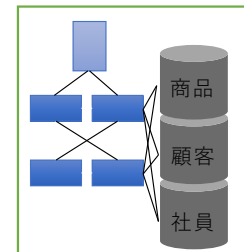
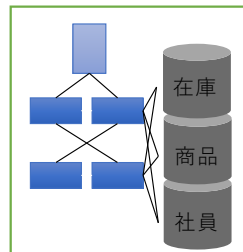
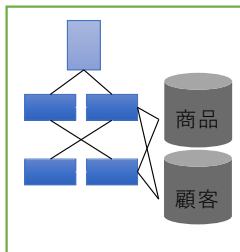


会社の現状

ビジネスの変化の加速＋ビジネスと情報システムの密接化



必要に応じて情報システムを開発



chaos

大規模で複雑なシステム（サイロ）が乱立
重複し整合していないデータの散在
全体を理解できる人や資料がない

雁字搦め

学習し進化する組織



事業

事業

事業

事業

肥やす
(Nourishment)

仮説検証の仕組



探索（実験）と深化（実践）による
体系的なナレッジ（肥やし）の蓄積

耕す
(Cultivation)

変化に強い構造



業務とシステムを
環境の変化に柔軟に適應できる
変化に強い構造にする
レイア化（分類）・モジュール化（分解）
ビジネスプロセスドリブン（統合）

価値創造の企業文化



貢献と成長による喜び
ナレッジの実践
透明で公平な評価
パーパスベース経営

強いシステムを創る

1. 変化に強いシステムが求められる背景
2. 変化に強いシステムを創るための3つのポイント
3. 変化に強い情報システム

変化に強いシステム

- 生産性が高い仕組み
新しいビジネスや情報システムがすぐに構築できる。
- 保守性が高い仕組み
既存のビジネスや情報システムをすぐに変更できる。

強いシステムを創る 3 つのポイント

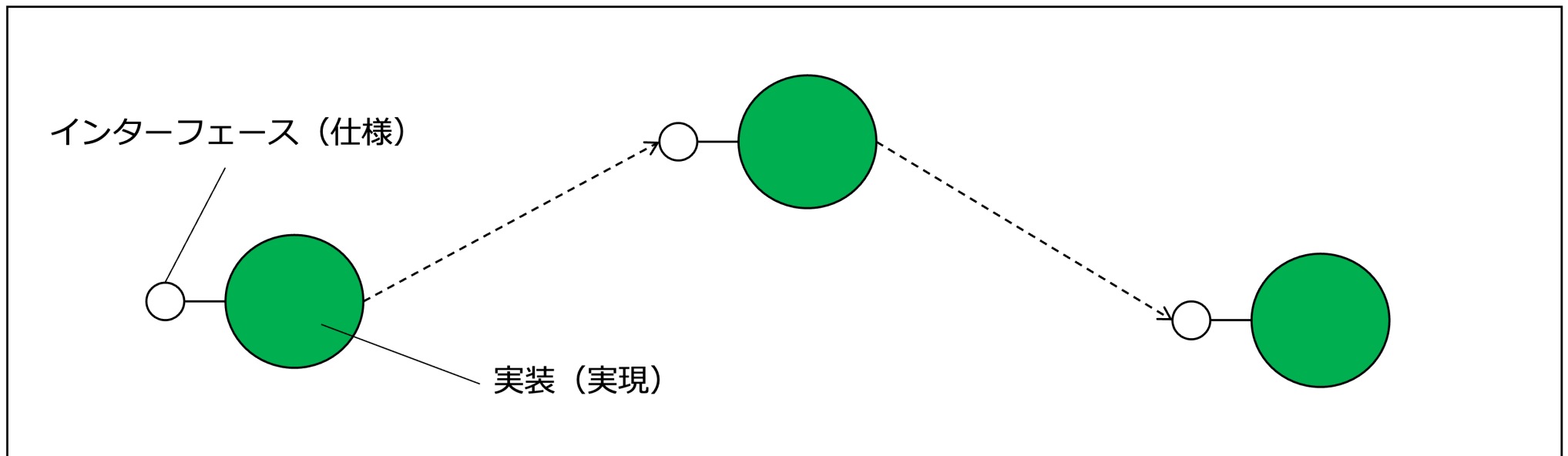
- モジュール化
- レイヤ化
- プロセス統合

強いシステムを創る 3つのポイント

- モジュール化
- レイヤ化
- プロセス統合

モジュール化

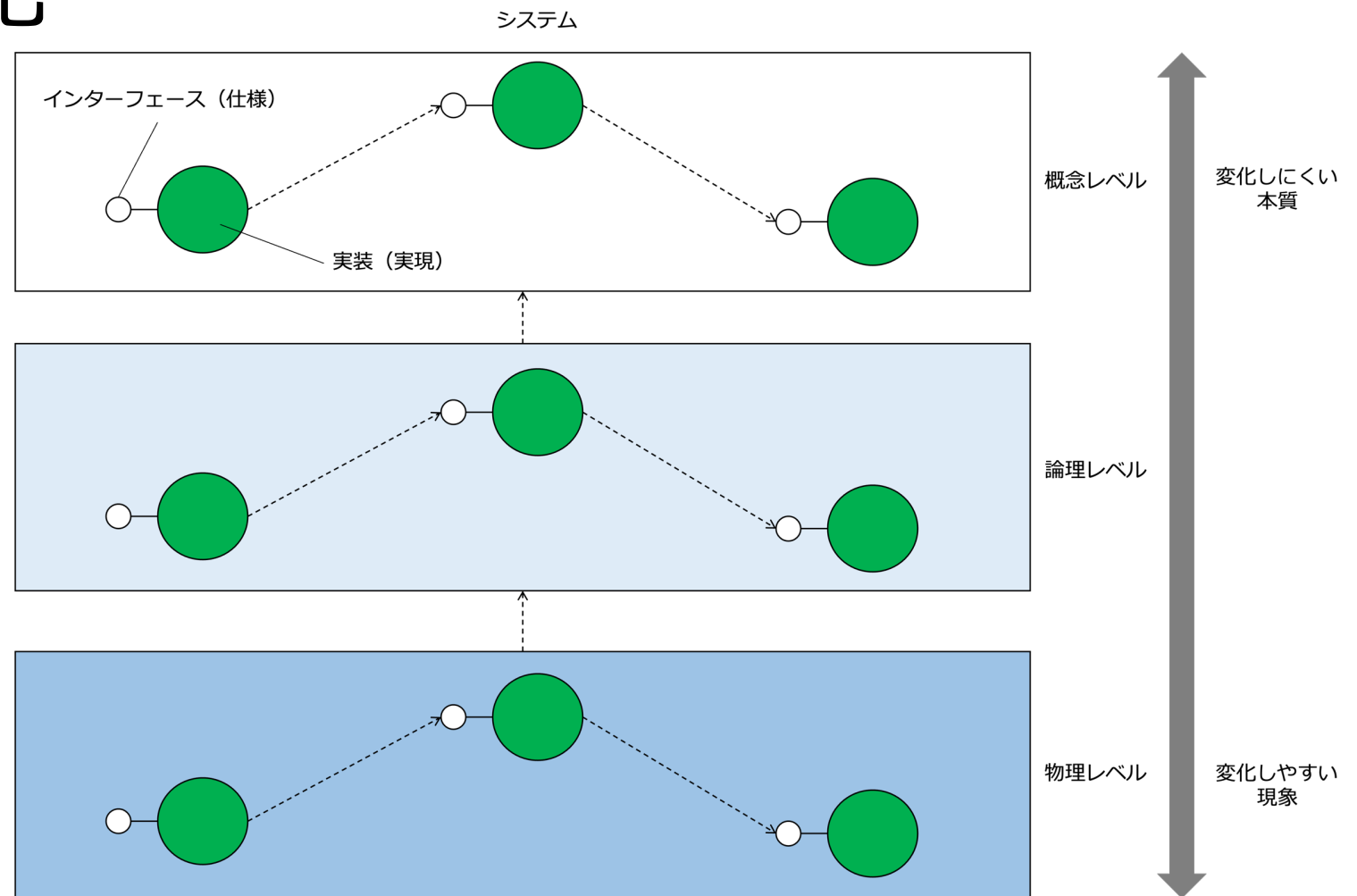
システム



強いシステムを創る 3つのポイント

- モジュール化
- レイヤ化
- プロセス統合

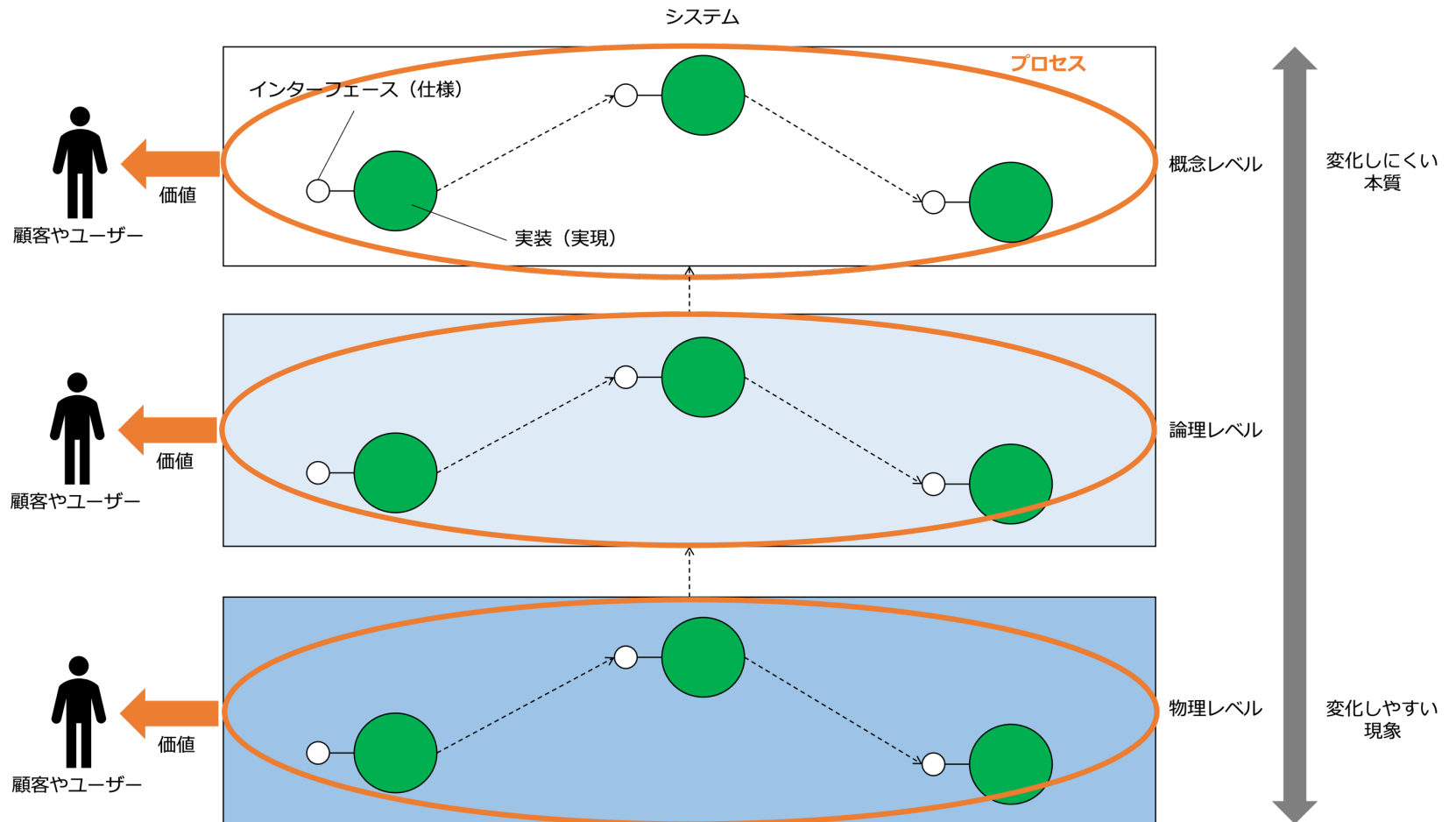
レイヤ化



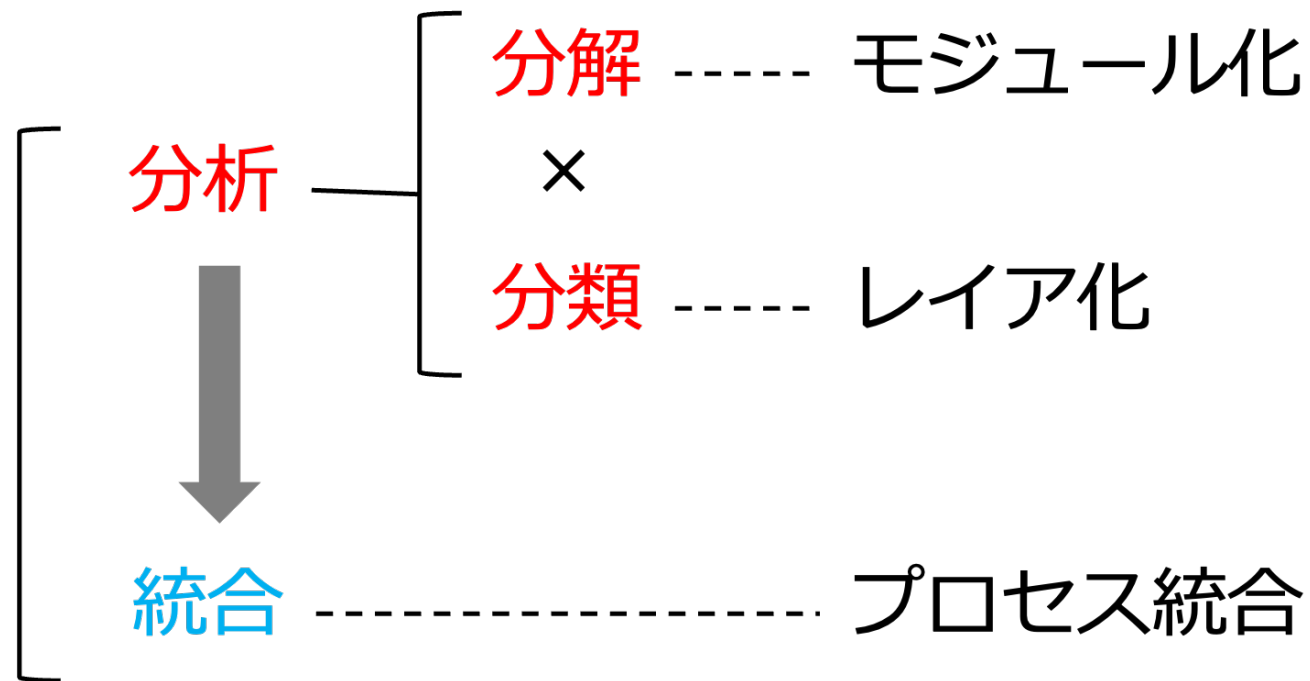
強いシステムを創る 3 つのポイント

- モジュール化
- レイヤ化
- プロセス統合

プロセス統合



変化に強いシステムを創るための3つのポイント



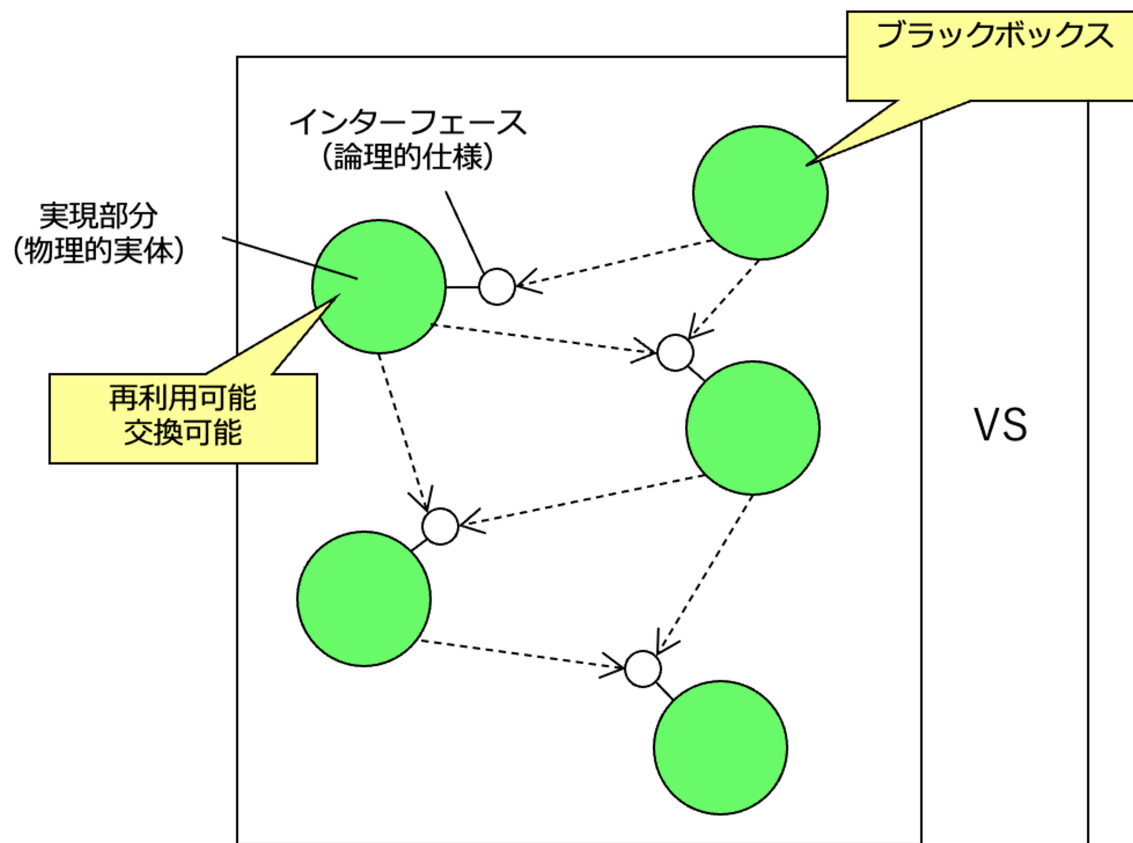
強いシステムを創る

1. 変化に強いシステムが求められる背景
2. 変化に強いシステムを創るための3つのポイント
3. 変化に強い情報システム

情報システムの例

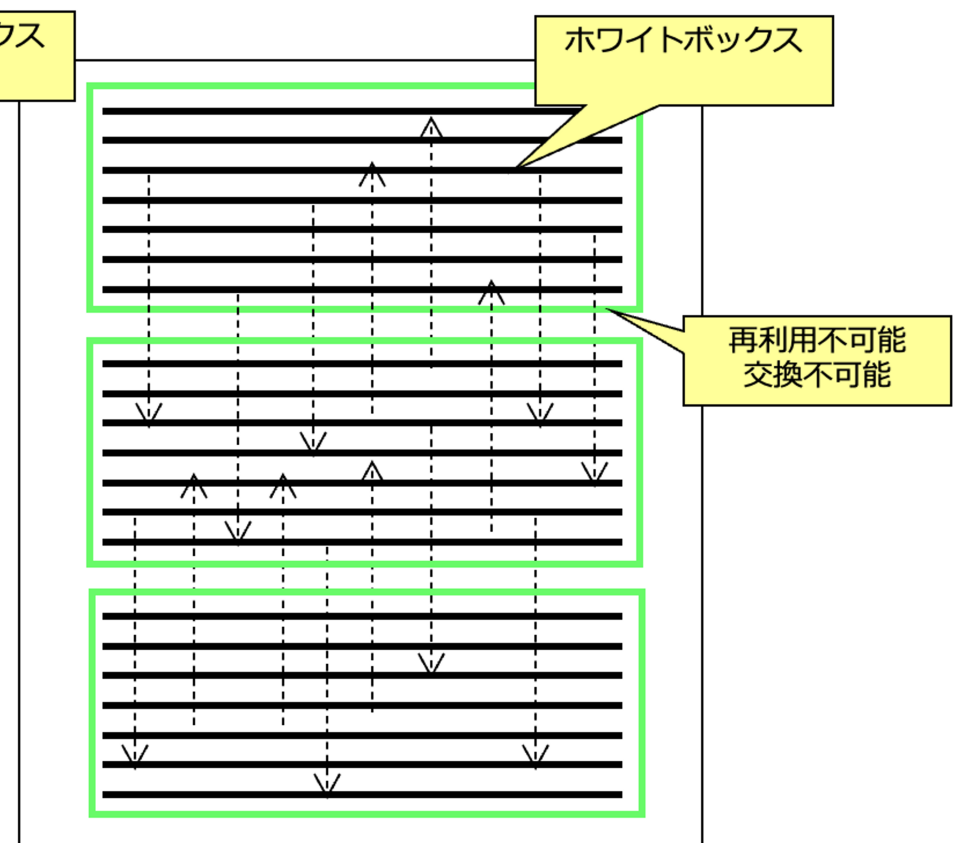
- モジュール化
- レイヤ化
- プロセス統合

モジュール化された構造



情報システム

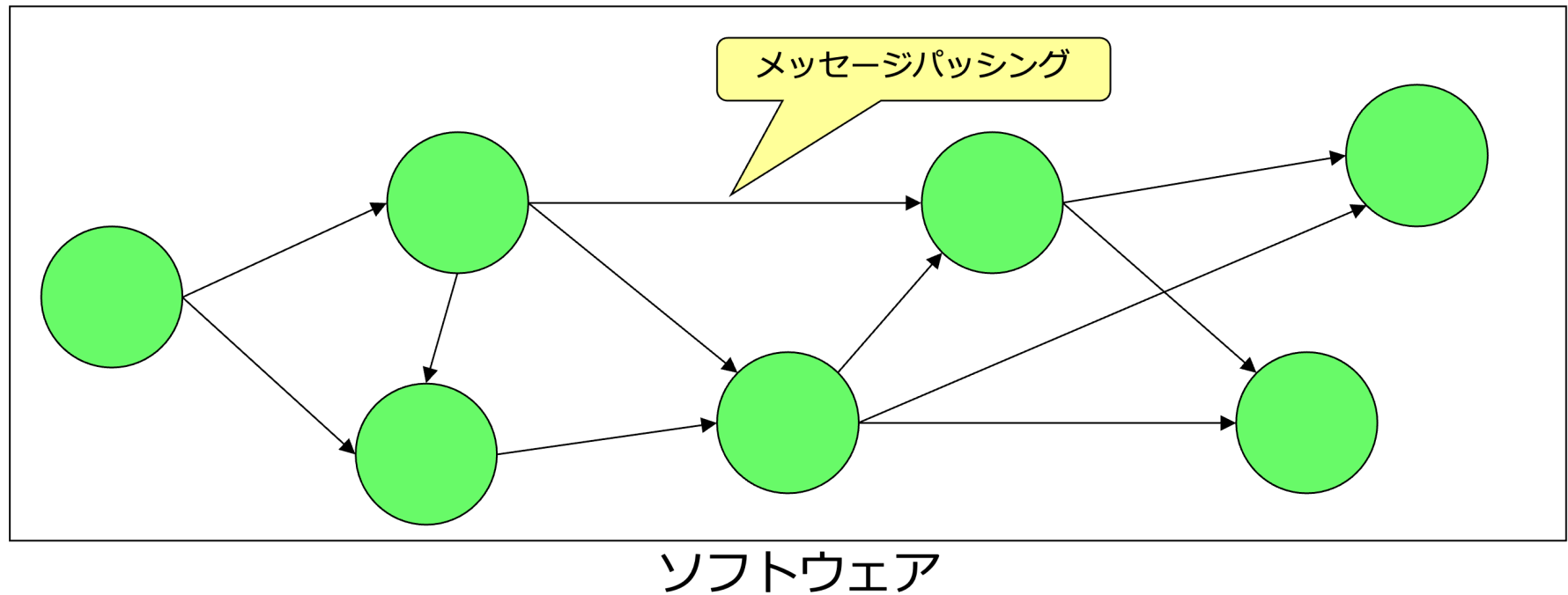
モジュール化されていない構造



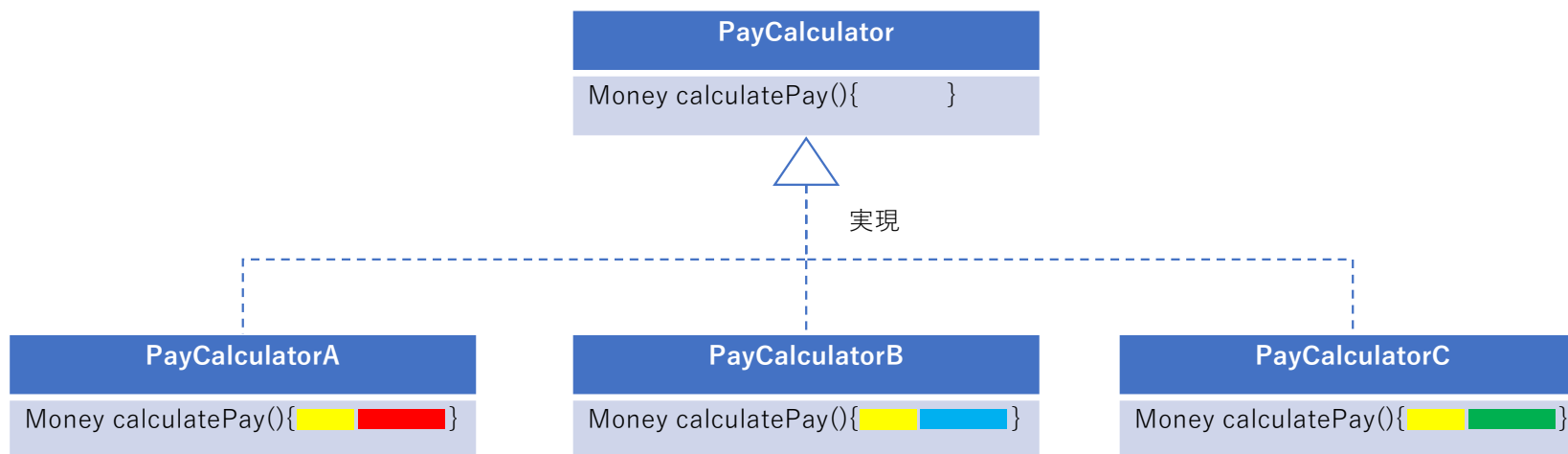
情報システム

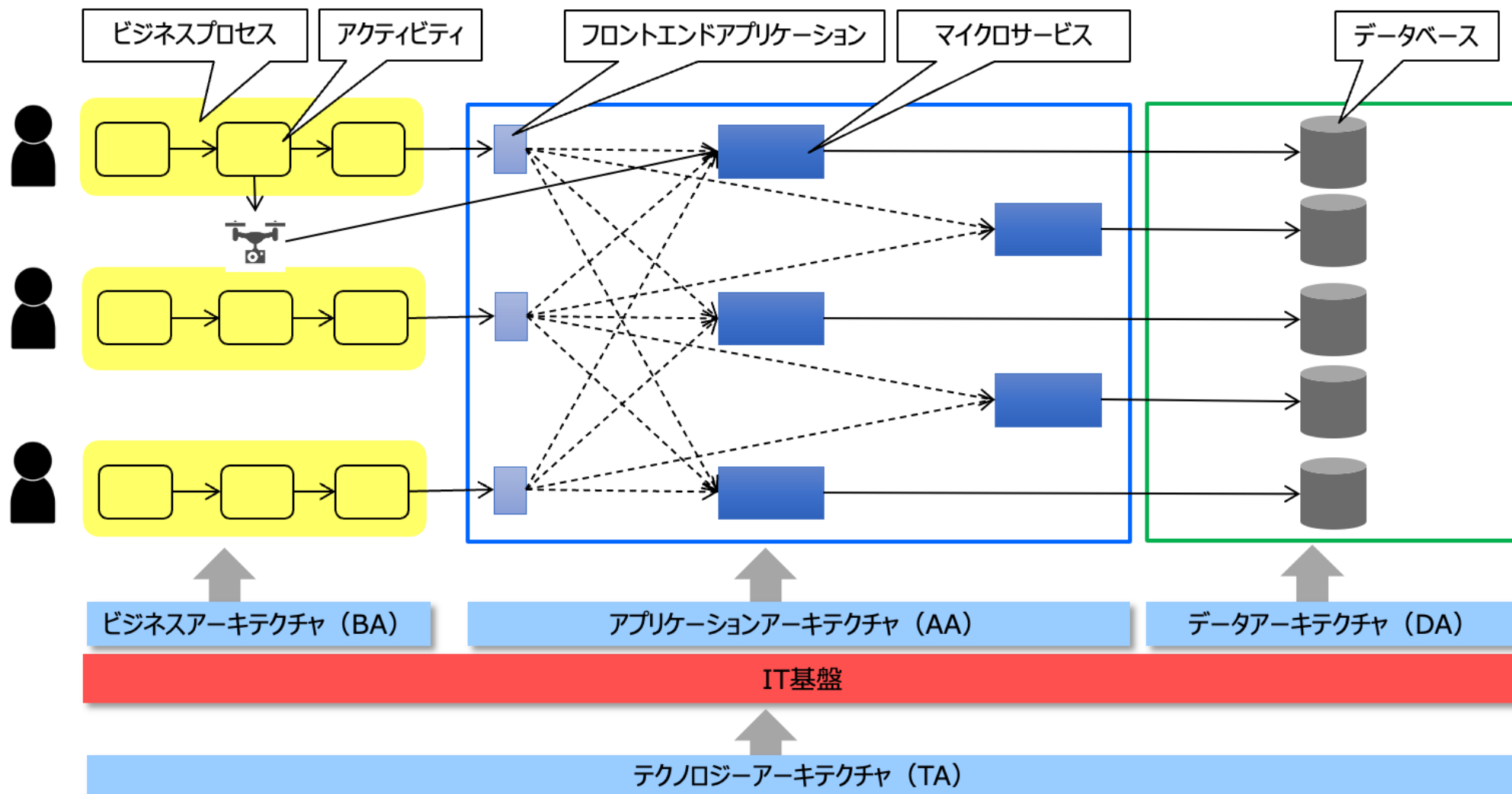
VS

オブジェクト指向プログラミング



多態性 (Polymorphism)





情報システムの例

- モジュール化
- レイヤ化
- プロセス統合

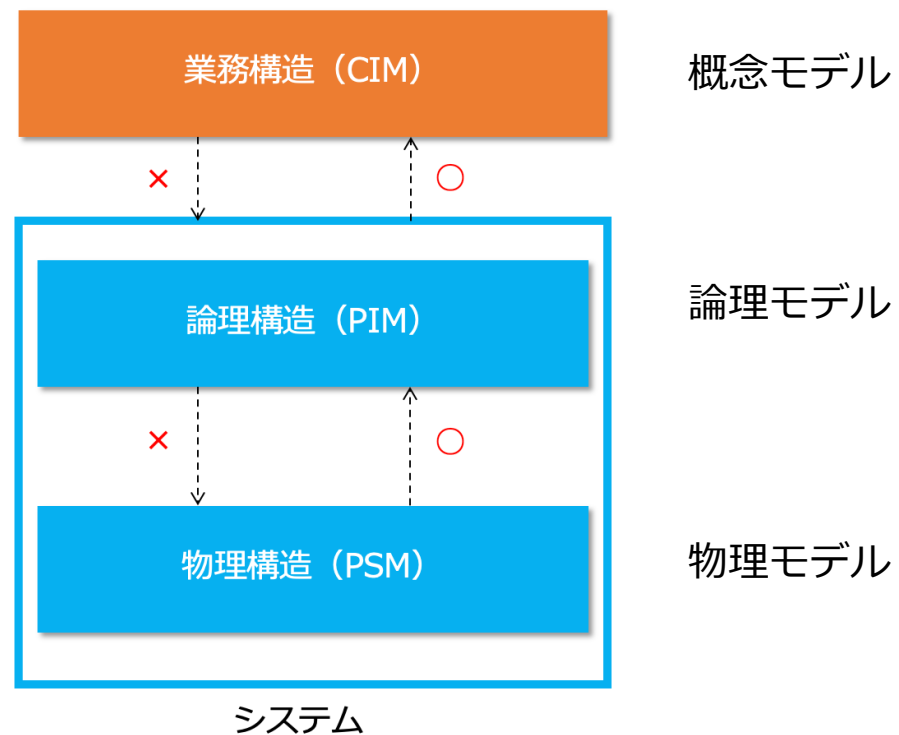
MDA (Model-Driven Architecture : モデル駆動アーキテクチャ)

標準化団体であるOMG(Object Management Group)が「20年持続するソフトウェアアーキテクチャ」を目標として2001年に提唱した概念。

- CIM (Computation Independent Model)
計算機処理に依存しないモデル。
- PIM (Platform Independent Model)
IT基盤に依存しないモデル。
- PSM (Platform Specific Model)
IT基盤に特化したモデル。

MDA

(Model-Driven Architecture : モデル駆動アーキテクチャ)

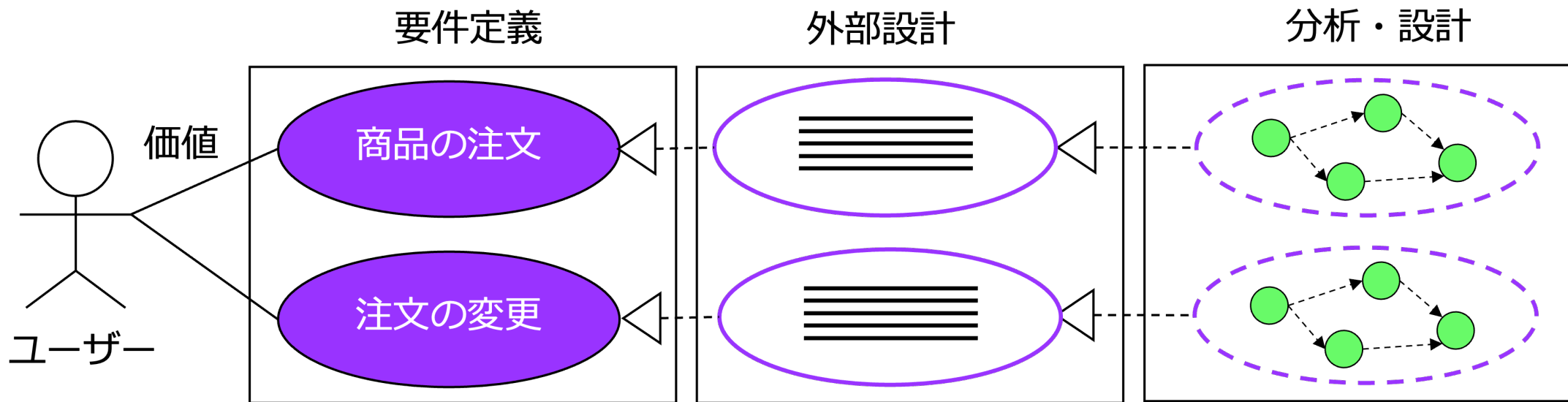


※ここで言うシステムは情報システムを指しています。

情報システムの例

- モジュール化
- レイヤ化
- プロセス統合

ユースケース駆動開発



強いシステムを創る

1. 変化に強いシステムが求められる背景
2. 変化に強いシステムを創るための3つのポイント
3. 変化に強い情報システム